

令和8年度

大津清陵高等学校（通信部） 学校評価

本年度の重点目標

- ・基礎学力の定着・伸張を図るとともに、「読み解く力」を育む。
- ・社会で自立できる人間の育成を図る。
- ・進路希望の実現を図る。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	教育方針や教育目標、教育活動に関する説明を適切に行っている。			
	単位制の良さを活かした学校経営に取り組んでいる。			
2 学習指導	基礎・基本の定着を目指した学習指導に努めている。			
	わかりやすい面接指導や達成感のあるレポート作成に取り組んでいる。 「読み解く力」の育成を図り課題を解決する力をつけることに努めている。			
3 生徒指導	生徒に対して、丁寧にもた親身に対応している。			
	交通安全のルールを遵守する指導や防災意識の高揚に努めている。 いじめの未然防止と早期発見に努め、適切な指導を行っている。			
4 進路指導	進路資料・相談体制を整備し、希望に応じた進路指導に努めている。			
	進路情報を迅速・確実に生徒に提供している。			
5 特別活動等	豊かな人間性の育成を目指した特別活動に取り組んでいる。			
	社会性を身につける教育活動に努めている。			
6 学校図書館	学校図書館が利用しやすいように取り組んでいる。			
	新着情報の案内など、読書に親しむ指導に努めている。			
7 保健・安全指導	生徒の健康管理と病気の予防に向けての啓発活動に努めている。			
	生徒の豊かな心の育成を図るように様々な取組を行っている。			
8 人権教育	すべての人の人権を尊重する観点で教育活動を行っている。			
	特別活動などを活用し、人権意識を高める指導に取り組んでいる。			
9 環境教育	ゴミの分別をはじめとした環境教育に取り組んでいる。			
10 事務・管理	文書管理を適切に行い、個人情報の保護などに努めている。			
	施設・設備の安全点検に努めている。			
11 その他 学校の取組	生徒の興味・関心や進路希望などに対応して、ガイダンスや指導を充実させている。			
	全校職員が積極的に生徒を把握し、指導に取り組んでいる。			

(注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表

10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。

3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

・A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、

あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。

学校のURL : <https://www.ohtsuseiryu-h.shiga-ec.ed.jp/>